

| | | | | | | | | | |
|--------------------|---|---|----|---------|----|------|-------|-----|-----|
| 講義コード | 11C0112401 | 授業形態 | 講義 | 事前登録の有無 | なし | 担当教員 | 外木 好美 | 開講期 | 第1期 |
| 科目名 | 国際金融論Ⅰ | | | | | | | 第1期 | |
| 履修前提条件 | | | | | 備考 | | | | |
| 授業の目的 | <p>国際金融論Ⅰでは、①財市場、②貨幣市場、③為替市場の各々の市場を理論的に分析します。ここで利用する経済理論は、ミクロ経済学とマクロ経済学、金融論で学んだ内容が基礎となります（主にマクロ経済学）。マクロ経済学や金融論で学んだ金融の仕組みや制度、経済政策等について、為替レートや国際収支を通じた影響も踏まえて、理論的なアプローチで理解することを目的とします。</p> <p>国際金融論Ⅱとセットで受講してください。</p> | | | | | | | | |
| 到達目標 | <p>①国際的な資金の融通の意味、②物価と金利、為替レートが各市場でどう決まるのか、③金利と生産物の裁定取引を通じた金利と物価と為替レートとの間の関係について、理解することを目標とする。①～③で学ぶ数式について、その意味を理解し、グラフで分析ができるようになります。</p> | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・授業外学修時間数 | <p>授業では、直感的な理解ができるよう努めます。授業後に教科書を読み、各章の復習問題に取り組んで、自身の理解度を確認してください。授業中に基礎となる科目（マクロや金融等）の内容にも触れますが、あくまでも簡単な復習レベルです。是非、個別に質問に来るようにしてください。</p> <p>授業外学修は60時間以上行うこと。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 | <p>【第1回】ガイダンス、基本的視点の設定：経済学の基本的な考え方</p> <p>【第2回】基本的視点の設定：金融取引の意味と効果、国境を超えた経済取引を考える</p> <p>【第3回】国民経済計算と国際収支会計：国民経済計算、GDPの構成要素</p> <p>【第4回】国民経済計算と国際収支会計：国際収支統計</p> <p>【第5回】貨幣とマクロ経済：貨幣とその役割、資産としての貨幣とその特徴、貨幣需要、貨幣供給</p> <p>【第6回】貨幣とマクロ経済：貨幣市場の均衡、貨幣と物価</p> <p>【第7回】為替レートと外国為替市場</p> <p>【第8回】前半のまとめ&質問受付</p> | <p>【第9回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：金利裁定とカバー付利子平価、カバーなし金利平価と均衡為替レート</p> <p>【第10回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：貨幣市場と外国為替市場（利子率と名目為替レート）</p> <p>【第11回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：リスク・プレミアム</p> <p>【第12回】金利と為替レート（資産市場における裁定）時間の経過と均衡の変遷</p> <p>【第13回】物価と為替レート（生産物市場における裁定）</p> <p>【第14回】後半のまとめ&質問受付</p> <p>【第15回】総まとめ&質問受付</p> | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | 中間レポートと期末試験の点数で評価します。 | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | 各章で復習問題で、習熟度を確認してもらいます。ミクロ、マクロ、金融と基礎となる科目が多く、どこでつまづいているのかは学生によってバラツキます。もし解答に困ったら、講義後に残っている時間で質問をしてください。個別に対応します。勉強したつもりではなく、先生に質問しながら能動的に学習をしてください。 | | | | | | | | |
| 教科書 指定図書 参考書 | 『コア・テキスト国際金融論第2版』藤井 英次（新世社）2013 | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | 算数、数学、図、数式等でわからないことがあったら、簡単なことでも、声をかけてください。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |